

令和 7 年度文化創造推進課の主な事業について

○プラットフォーム事業「はちのへアート広場」

1. 概 要

「はちのへ文化のまちづくりプラン～八戸市文化芸術推進基本計画～」(令和 4 年 3 月策定)では、文化芸術活動の可能性や効果を大きく広げるため、多様な主体が自主的に参加でき、対等な立場でゆるやかに連携や協働ができる八戸ならではのプラットフォームづくりを目指すこととしています。

このプラットフォームを「はちのへアート広場」と称し、文化芸術を取り巻く環境変化や、市内外の先進的・特徴的な取組事例などを学びあうことを通して、既存の取組のブラッシュアップや新たな取組について参加者が自ら考える機会とし、参加者相互の交流やネットワーキングから複数のスモールスタート事業を生み出し、持続可能で幅広い活動につなげていくことを目的として活動します。

2. 参加対象者

幅広く市民全般を対象とする活動ですが、具体的には文化芸術活動者(個人・団体)、教育関係者、福祉関係者、高等教育機関(大学)、地元企業、市民活動団体(文化)、文化芸術活動に興味のある方、公立文化施設、市文化関係部署を想定しています。

【事業計画】

◎セミナー型「ひろば交流会」の開催

「はちのへ文化のまちづくりプラン」に基づいたテーマを設定し、そのテーマに精通したパネリストを招聘し、年度内に 2 回開催予定。

- ① 開催日時・会場 1 回目： 7/11 (金) 13:30～15:30 「はっち」シアター 2
2 回目： 10/10 (金) 13:30～15:30 美術館 スタジオ

- ② テーマ(案) 1 回目： **学校部活動の地域移行について**

→学校部活動の地域移行に向けた取組や想定される課題について、教育的立場を超えて意見交換を行う。

- 2 回目： **食文化の継承について**

→食文化による地域活性化や、ブランド力向上等への活用に向けた取組について学び、次世代への継承について意見交換を行う。

- ③ 開催方法 参加は事前申し込み制とするが、オープンスタイルで実施。



※昨年のひろば
交流会の様子

○はちのへアートフォーラム開催事業

1. 概 要

市民一人一人にとって、また社会にとって文化芸術が果たす役割を問い直し、考え、共有する機会とし、八戸地域における文化芸術活動の活性化と、持続的な地域発展の実現を目指すことを目的に、文化芸術に関する講演会を開催する。

【令和7年度事業計画】

テーマ：（仮称）ともにいることの可能性

日時（予定）：8/23（土）14:00～

場所：はっち1階 シアター1

講師：NP0 法人クリエイティブビジネスサポートレッツ 久保田 翠 氏

内容：同団体が掲げる活動理念「表現未満、」とは、誰もが持っている

自分を表す方法や本人が大切にしていることを取るに足らない

ことと一方的に判断することなく、この行為こそが文化創造の軸

であると認めていく考え方であり、「表現」と呼べるほど整っては

いないけれど、その行為を「その人そのもの」と受け止めていく価値観である。

その実践者である久保田氏の取組を聞くことで、当市において、福祉、文化、

まちづくりについて、再考するきっかけとする。

参加対象者：福祉関係者、市内の大学、高校、文化関係者、まちづくり関係者ほか



○小規模学校音楽鑑賞教室開催事業

概 要

「はちのへ文化のまちづくりプラン」が掲げる、子ども達の文化芸術の鑑賞や学びの機会の充実につながる事業として、市内小規模校を対象とした学校音楽鑑賞教室を開催。

【令和7年度事業計画】

日時：①9/10（水）10:40～ ②10/16（木）10:00～

場所：①豊崎小学校 ②種差小学校

出演：インフィニートコラルコ弦楽合奏団



R6.7 轟木小学校での様子

○はちのへ文化のまちづくり推進事業補助金

概 要

「はちのへ文化のまちづくりプラン」に基づき、多様で特色ある自主的な文化活動によるまちの魅力創造を図るため、文化芸術活動に対し補助金を交付。

【令和7年度事業計画】

①演奏会開催に対する支援 上限200千円×3団体（補助率1/3）

②大会出場に対する支援 全国大会5千円×20人、国民文化祭10千円×10人

③文化芸術活動に対する支援 上限100千円×5団体

④【新規】次世代育成活動に対する支援 上限100千円×3団体

④については、市内で行う文化事業で、次世代を担う若手（概ね 40 歳未満）や子ども達の育成を図り、地域文化の保存・継承・活用することに資する取組を対象とする。

○八戸市公会堂開館 50 周年記念事業

概 要

八戸市公会堂が、1975 年（昭和 50 年）の開館から 50 周年を迎えることから、次のとおり周年事業を開催する。

【令和 7 年度事業計画】

①記念パネル展の開催

日時：9/1（月）～R8.2 月中旬まで

会場：SG GROUP ホールはちのへ（公会堂）
エントランスホール内

内容：昭和 50 年の開館から今日までの
八戸市公会堂の様子が分かる新聞記事や、
写真のパネル展示ほか



八戸市公会堂の外観

②文化庁「学校における文化芸術鑑賞・体験推進事業」

仙台フィルハーモニー管弦楽団 小学生招待コンサート

日時：R8.1 月

会場：SG GROUP ホールはちのへ（公会堂）

内容：文化庁の助成を受け、プロのオーケストラ演奏会に、市内の小学生（6 年生、約 1,700 名）
を無料招待するもの。学校から会場までの送迎も手配。

③（一財）地域創造「地域の文化・芸術活動助成事業」

東北地方を題材したダンス作品創造事業 K バレエ・オプト「遠野物語」

日時：R8.1 月

会場：SG GROUP ホールはちのへ（公会堂）

内容：地域創造の助成により、柳田國男の「遠野物語」を題材としたダンス作品を創造し、
上演する。

八戸市公会堂文化事業として、公会堂指定管理者へ事業を委託。

○更上閣ガーデンレストラン開催事業

1. 概 要

国の登録有形文化財である更上閣及び更上閣にぎわい広場を市民に広く知ってもらい、日常的な利用促進につなげるとともに、文化事業と商業機能との連携による中心街の回遊促進等を目的に、キッチンカー等の飲食事業者に出店してもらい、ガーデンレストランを開催するもの。

2. 内 容

屋外での飲食に適する時期（夏（6 月）・秋（10 月）を想定）に、更上閣敷地内にキッチンカーやテントを置いて食事を提供するイベントを開催します。

また、期間中の夜間（1 日）には中心市街地の文化施設（美術館、はっち、マチニワ）において各施設に合った音楽イベントを同時開催し、来街者による中心市街地の賑わい創出や回遊性向上を目指します。

【ガーデンレストラン】

- ①日程案 夏 6/4(水)～6/7(土) 秋 10/1(水)～10/4(土)
- ②出店時間 11:00～14:00
- ③1日あたりの出店数 3～5店舗を想定

【ヨルニワ(音楽イベント)】

- ①日程案 ガーデンレストラン開催期間中 １日程度（週末）
②開催場所(案) 更上閣、美術館、はっち
③開催時間 17時～19時
- ※施設ごとに開催時間をずらして開催



※昨年のガーデンレストランの様子



ブックセンター

○ギャラリー展「はしもとみお巡回展・いきものたちの物語」

1. 会期
令和7年3月1日（土）～5月11日（日）

- ## 2. 概要

動物の木彫り彫刻家・はしもとみおさんの巡回展。絵本『トゲトゲ』、『おもいでいっぱいになったら』、『ともだちのなまえ』の原画や、『はじめての木彫りどうぶつ手習い帖』の見本彫刻を展示するもの。3月15日（土）には、はしもとみおさんによるトークイベントも開催。

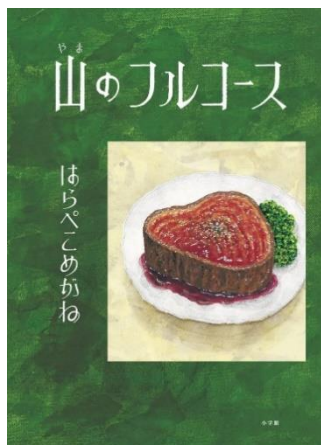
○ギャラリー展「はらぺこめがね・絵本『山のフルコース』原画展」

「高畠那生・絵本『うしとさん』原画展」

1. 会期
令和7年5月下旬～9月中旬（会期中に展示替え）

2. 概要

小学館とのコラボ企画として、夫婦イラストユニット「はらぺこめがね」の最新作『山のフルコース』、数々の絵本を生み出してきた高島那生さんの人気作『うしとざん』の原画展



○選書委員会（仮）におけるブックリストの作成

1. 内容

現在、マイブック推進事業（市内小学生全児童にブッククーポンを配付）において、おすすめ本を紹介するブックリストを作成し、ブッククーポンと一緒に全児童に配付しているが、小学生に留まらず、「本のまち八戸」として、年代別（幼児・児童・中高生・大人）のブックリストを段階的に作成することで検討中。

市立図書館が中心となり、小中学校の図書館司書（教育委員会）、ブックセンターのほか、外部からの専門家も含めた選書委員会（仮）を組織する予定。

令和年7度八戸ポータルミュージアム事業について

八戸ポータルミュージアムの運営にあたっては、「第3期八戸ポータルミュージアム中期運営方針」のほか、「はちのへ文化のまちづくりプラン」や「八戸市中心市街地まちづくりビジョン」などを踏まえながら、各種事業について、以下の3分野に沿って多面的に展開することで、中心市街地の活性化や住民福祉の増進に寄与するよう取り組む。

1. 文化・アート	=	多様な文化・アートの創造性を中心に展開される事業群
2. 賑わい・観光	=	賑わい創出や観光振興を中心に展開される事業群
3. 社会・暮らし	=	暮らしや活動の拠点づくりを中心に展開される事業群

主な文化・アート事業

(1) パフォーミングアーツ公演事業

概要：公募により広く舞台芸術に関する公演者を募集し、定期的に公演を実施することにより、市民への鑑賞機会の提供と、アウトリーチ（出張ワークショップ）を行うことで、地域の舞台芸術・パフォーマンス活動の活性化を目指す。

実施時期：令和7年6月、9月、12月、令和8年3月のうち、2回

実施団体：2団体（予定）



R6.12 「声」公演



R6.12 アウトリーチ（北稜中学校）

(2) 共生社会プロジェクト「盆踊りディスコ」

概要：年齢や障がいの有無等に関わらず、等しく文化芸術に触れ関わる機会を創出するため、盆踊りをモチーフにした誰もが参加できるダンスイベントを開催する。

期日：令和7年9月13日（土）（予定）

場所：マチニワ（予定）

講師：RINKA氏（ONE MOVE）、泉彩葉氏（泉流彩葉会）ほか



R6.8 盆踊りディスコ

(3) 開館15周年事業

概要：令和8年2月の開館15周年に向け、地域資源を生かして市民とともに行うプロジェクトや館内展示に関わる作家の展示企画、当市ゆかりのアーティストのライブなどを実施する。

実施時期：令和7年5月～令和8年2月

場所：館内

令和7年度上半期はっち実施事業（主なもの）

5月

- ・はっちのゴールデンウィーク（4/27日（日）～6日（日））
- ・マチニワ大道芸（31日（土）、6/1日（日））

6月

- ・アンブレラスカイ（1日（日）～29日（日））

7月

- ・はっちの七夕（1日（火）～20日（日））
- ・お祭りinはっち2025（31日（木）～8/4日（月））

8月

- ・はっちFRIDAY LIVE！特別公演（9日（土））

9月

- ・盆踊りディスコ（13日（土））

10月

- ・酔っ払いに愛を～横丁オンリーユーシアター～（10日（金）、11日（土））

令和7年度八戸市美術館の企画について

1. 概要

令和7年度の展覧会については、現在盛り上がりを見せる浮世絵の展覧会をはじめ、世界的なコンテンツであるポケットモンスターをテーマにした工芸作品の巡回展、また、特別貸館により高い人気を誇る巡回展を開催する。

2. 令和7年度の主な企画内容について

(1) 展覧会

①企画展「浮世絵コンニチは タイカンする江戸文化」

浮世絵とはどんなものか、作品や道具・版木等の約200点の展示によって多角的に紹介。浮世絵を通じて今日（コンニチ）をみつめ、江戸文化を大観（タイカン）しながら、体感（タイカン）する展覧会。

■会期：令和7年4月19日（土）～6月15日（日）

■主催：八戸市美術館 共同企画：八戸クリニック街かどミュージアム

■展示作品：浮世絵、版木、版画用道具等 約200点



歌川国貞《双蝶々曲輪日記》安政元(1854)年
八戸クリニック街かどミュージアム蔵



歌川広重《東海道五十三次之内 庄野 白雨》天保4-5(1833-34)年
八戸クリニック街かどミュージアム蔵

②巡回展「ポケモン×工芸展 —美とわざの大発見—」

世界的に人気を集めるポケットモンスターをテーマに、人間国宝から注目の若手まで、日本を代表する工芸作家たちが、多種多様な素材と技法、美意識によって表現した世界を楽しめる展覧会。北海道・東北エリアでは初開催となる。

■会期：令和7年6月28日（土）～8月31日（日）

■主催：ポケモン×工芸展八戸実行委員会

■展示作品：陶芸、漆、木工、金工、染織等 約100点



吉田泰一郎《シャワーズ》2022 個人蔵



植葉香澄《羊歯唐草文シェイミ》
2022 個人蔵



今井完眞《フシギバナ》2022
個人蔵

©2025 Pokémon. ©1995-2025 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc. ©吉田泰一郎、©植葉香澄、©今井完眞
TM, ®, and character names are trademarks of Nintendo. 撮影：斉城卓

③特別貸館「古代エジプト美術館展」

日本唯一の古代エジプト専門美術館である「古代エジプト美術館 渋谷」のコレクションを紹介する展覧会。本コレクションは、今から 6,500 年前～2,000 年前に栄えた古代エジプト文明を網羅しており、ミイラやミイラマスク、木棺など世界的に貴重な遺物約 200 点を展示。

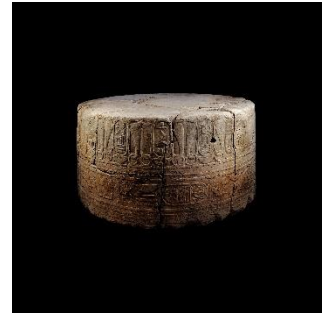
- 会期：令和 7 年 10 月 11 日（土）～12 月 15 日（月）
- 主催：デーリー東北新聞社、古代エジプト美術館 渋谷
- 共催：八戸市美術館
- 作品：ミイラ、ミイラマスク、木棺、レリーフ等約 200 点



ミイラマスク／プトレマイオス朝時代
(全て古代エジプト美術館 渋谷蔵)



人型木棺／プトレマイオス朝時代初期

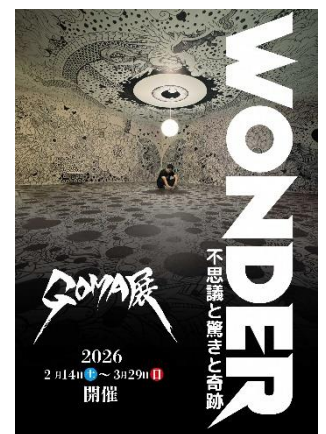


プトレマイオス 2 世フィラデルフィスの神殿の柱の基部／
プトレマイオス朝時代

④特別貸館「GOMA 展 WONDER ～不思議と驚きと奇跡～」

青森県在住の画家 GOMA の個展「GOMA 展」は、七戸町、田舎館村で開催を重ね、県南で初開催となる。今回は新作を多数展示し、今までの GOMA 展とは違った不思議と驚きと奇跡が体験できる。

- 会期：令和 8 年 2 月 14 日（土）～3 月 29 日（日）
- 主催：GOMALABO
- 共催：八戸市美術館



⑤八戸市美術展

八戸市文化協会との共催により、全館を使って市民が創作した書道や絵画、写真など多彩なジャンルの作品約 500 点を展示する。文化協会会員を中心とする展示に加え、広く市民や若手アーティスト、学生等の作品発表の場を提供する。

- 会期：前期 令和 7 年 9 月 18 日（木）～9 月 21 日（日）
後期 令和 7 年 9 月 25 日（木）～9 月 28 日（日）
- 主催：八戸市文化協会、八戸市美術館

⑥コレクションラボ

八戸市美術館の収蔵作品の中から厳選した作品を、毎回テーマを設定し、展示に合わせた

実験的なプログラムを行いながら、展示入替の期間を除き通年で展示することで、多彩なコレクションに気軽に触れられる機会を提供する。

展覧会名称・会期	内容
010「西野こよ 表現への挑戦」 令和7年3月1日（土）～6月15日（日）	令和6年度新規収蔵の西野こよの作品を展示。
011「きっと、そこには」 令和7年9月13日（土）～12月8日（月）	人物画や風景画などを楽しみながら、絵が見つめる先にあるものや、絵には描かれていないものを感じ、考える展覧会。
012「渡辺貞一展（仮）」 令和7年12月13日（土）～令和8年3月23日（月）	青森市出身で、八戸ゆかりの作家とも交流のあった渡辺貞一の作品、世界観を紹介。
010「浅沼弘展（仮）」 令和8年3月28日（土）～7月20日（月）	浅沼弘と教育版画のつながりや、版画研究機関との関連を紹介。

⑦スケジュール

	R7.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R8.1	2	3
企画展・巡回展		浮世絵展		ポケモン×	江戸市美術展		古代エジプト展				GOMA 展	
コレクションラ ボ		西野こよ		工芸展		きっと、そこには		渡辺貞一		浅沼弘		

（２）プロジェクト

①アートファーマープロジェクト

美術館の企画や運営に能動的に関わる市民スタッフの「アートファーマー」と美術館スタッフが一緒に、美術館での学びを活かして、アーティストとの共同創作活動や来館者へのガイドなど、美術館と人、作品と人、人と人をつなぐ様々な取組を展開する。

■主なアートファーマープロジェクト

プロジェクト名	内容
建築ツアーガイド	アートファーマーの個性を活かしたガイドで八戸市美術館の建物の魅力を来館者に伝える。ガイド役と来館者とで会話が弾む、双方向型のガイドツアー。
美術館のアクセシビリティ向上プログラム	アクセシビリティ（近づきやすさ、利用しやすさ）をテーマとし、年齢、性別、障がい、国籍などに関わらず、市民が美術館を利用しやすい環境をつくる。 展覧会に合わせ、「手話通訳付き展覧会ガイドツアー」などを実施する。
美術館広報部	美術館のコンセプトや建物の特徴を学び、美術館での体験をとおして感じたことを web 等で発信するなど、メンバーが主体となって活動を企画し、実践していく。

(仮称) 美術館ものづくり部	ものづくり部を設置し、ものづくりができる場所をつくとともに、中心街での中高生の活動場所としての活動を推進する。
----------------	---

②学校連携プロジェクト

小・中・高校の教員、美術館の学芸員、専門家による「学校連携プロジェクトチーム」の活動を継続する。子どもたちの力を伸ばして自ら新しい価値をつくり出せる人を育てるために、美術館を活動拠点に、学校の授業で役立つツールやプログラムづくりのほか、学校教育だけでは実現できない取組を行う。

③大学・高専連携プロジェクト

市内の大学・高専が有する専門性と美術館の専門性を掛け合わせて、社会人と学生が一緒に学び、社会で実践できるプログラムを展開する。また、子育て世代、障がい者や高齢者など、誰もが美術館を利用しやすい環境づくりなど、美術館のアクセシビリティを高める取組を行う。

(3) その他

「共に創る！アートのまちづくり魅力発見事業」

八戸歴史文化発信事業実行委員会（事務局：八戸クリニック街かどミュージアム）と連携し、同事業に係る美術館の「共創パートナー」を募り、各々で行われている文化イベント情報を紹介・連携する取組を行う。

LINE 公式アカウント「ヨッテミッテ」による文化芸術関連イベント情報の発信や、HP「はちのへヒストリア」との連携、「街なかアートマップ」の作成・配付、パートナーミーティング等を行う。

【令和 7 年度 社会教育課 主な事業】

1 民俗芸能の夕べ

八戸に古くから伝わる民俗芸能の団体に発表の場を設け、技芸の技術向上や活動の活性化を図るとともに、市民が民俗芸能に触れる機会を創出することで興味関心を促し、後継者の育成と民俗芸能の保存・伝承に貢献する。

令和 7 年度は、八戸・久慈・二戸圏域が持ち回りで実施する「北緯 40° ナニヤトヤラ連邦郷土芸能交流祭」と併催されるため、日頃触れる機会の少ない他都市の郷土芸能を鑑賞することで、周辺地域に対する興味・関心を促し、圏域間の交流と郷土芸能のさらなる活性化を図る。

○第 48 回民俗芸能の夕べ 兼 北緯 40° ナニヤトヤラ連邦郷土芸能交流祭（予定）

日 時 令和 7 年 12 月 6 日（土）

出演団体 八戸市内から 4 団体、八戸・久慈・二戸各圏域から 1 団体の計 7 団体

2 八戸市民大学講座

八戸市に縁のある方や各分野における専門家を講師に招き、知性と教養を身につけ、幅広い知見を学ぶ生涯学習の場として昭和 45 年度から実施しており、申込み不要・受講料無料、八戸市民に限らず受講可能としている。

○令和 7 年度実施概要（予定）

日 時 令和 7 年 5 月～ 11 月 10 講座程度

会 場 SG グループホールはちのへ（公会堂または文化ホール）

講 師 調整中（受講者アンケートや、庁内各課からの推薦等）

令和7年度是川縄文館事業計画（案）

（１） 常設展示

保存修理、資料貸出対応等による一部展示替えや最新研究報告コーナーの展示更新等

（２） 企画展示

○春季企画展「掘り day はちのへー令和5・6年度発掘資料展ー」

令和5・6年度に実施した発掘調査の成果を展示するとともに、特集展示として、最近の調査でわかった八戸地域の古代集落について紹介し、発掘調査事業への理解と八戸の古代への関心を深める契機とする。

開催期間：4月26日(土)～6月22日(日)

併催行事：ギャラリートーク・発掘調査体験・バックヤードツアー等

○夏季特別展「(仮) 貝へのあこがれ」

貝でつくられた道具や装身具の展示を通して貝と縄文人の関わりを紹介する。また、貝をはぐくんだ縄文の海からつながる現代の海についても紹介し、海と人とのかかわりについて学ぶ契機とする。

開催期間：7月12日(土)～9月7日(日)

併催行事：ギャラリートーク・特別展考古学講座・ワークショップ等

○秋季企画展「(仮) 尖底土器の世界」

八戸地域の遺跡を中心に、縄文時代早期の暮らしを紹介するとともに、尖底土器の成り立ちと展開を探る。

開催期間：10月4日(土)～11月24日(月)

併催行事：ギャラリートーク・企画展考古学講座

○冬季企画展「(仮) 縄文・かたちの美ー是川遺跡のミニチュア製品ー」

是川遺跡出土品を紹介するシリーズ展示の第7回。ミニチュア製品を中心に紹介する。

開催期間：令和8年1月10日(土)～5月6日(水)

（３） 教育普及

○是川縄文館サポートスタッフ研修会

学芸員による解説のほか、外部講師による座学、研修ツアー（日帰り）を実施。全10回。

○これかわ考古学クラブ

考古学と縄文時代について学ぶ体験型クラブ。小5～中3を対象。全6回。

○考古学講座

遺跡や考古学について学ぶ講演会。5～7月に3回、12～2月に3回開催。

○縄文の布を編む講座

カラムシ加工から布編みまでを行う体験型講座。9月開催。

○縄文土器作り講座

土器作りから野焼きまでを行う体験型講座。10～11月開催。

○日曜日縄文体験コーナー

予約なしで各種縄文体験ができる。学校夏休み期間中は土曜日も開催。

○土曜日体験教室

考古資料の解説とものづくりの体験学習を行う。サポートスタッフの実技研修を兼ねる。

5月：滑石のペンダント、7月：シカの角でペンダント、9月：合掌土偶、11月：木の実で縄文クッキング、3月：縄文土偶

○学芸員による出前講座

公民館・学校等、各所からの依頼による講座を随時開催。

○縄文是川ボランティアによる体験学習の指導

出前講座等、依頼に応じて随時開催。

○是川遺跡クリーンデー

清掃活動を通じて、是川遺跡の重要性や保存意識を育む。2回予定。

○遺跡調査報告会

八戸市内で実施した発掘調査成果についての報告会。11月開催。

(4) 埋蔵文化財発掘調査

○埋蔵文化財発掘調査

- ・ 個人住宅建築等に伴う試掘調査
- ・ 長芋作付けに伴う本発掘調査(松ヶ崎遺跡・田面木遺跡)
- ・ 本八戸駅通り地区整備事業に伴う本発掘調査(八戸城跡)
- ・ 一王寺遺跡内容確認調査

○埋蔵文化財調査報告書

- ・ 八戸市内遺跡発掘調査報告書
- ・ 一王寺遺跡内容確認調査整理作業

(5) 是川遺跡の整備活用

○史跡是川石器時代遺跡第1期整備事業

遺跡南側の造成工事、遺跡南側遺構復元・遺跡北側地形造成等実施設計、整備検討委員会の開催等

○史跡維持管理

ヤギ除草、草刈り、清掃委託

○世界遺産の保存・活用

- ・ 世界遺産協議会、専門家委員会、担当者会議
- ・ 包括的保存管理体制に係る業務(経過観察・遺産影響評価・庁内連絡会議)
- ・ 世界遺産登録PRバスラッピング掲出(継続)、首都圏等に向けたPR
- ・ 普及啓発に係る業務(出前講座等)

(6) 資料収蔵管理

○資料保存修理

重要文化財「青森県是川遺跡出土品」等の保存修理を行う。

○収蔵資料整理

出土品や写真、図書等の収蔵資料のデータベース化、再整理、再収納を行う。

(7) 調査研究

○第5期共同研究

金沢大学等との共同研究。研究テーマ「縄文時代の櫛と漆混和剤の研究」（仮）
漆塗櫛の構造解析と復元製作による是川縄文人の植物資源利用の研究。

(8) 広報・情報発信

○「広報はちのへ」掲載

企画展及び特別展について特集記事を掲載予定。

○広告掲載

夏季特別展及び秋季企画展を周知するため、地元新聞等に広告掲載を予定。

○ラジオ

地元コミュニティ FM (BeFM) での行事案内。隔月電話取材。

○図録等刊行

- ・「掘り day はちのへ-八戸市埋蔵文化財ニュース-」28号
- ・「研究紀要」第15号、「年報」第14号
- ・夏季特別展図録、秋季企画展図録
- ・是川遺跡出土品保存修理報告書、是川遺跡出土品活用報告書

○オリジナルグッズ制作

(9) 八戸縄文保存協会と連携した活動

○ミュージアムショップ・喫茶コーナー運営

○ボランティア激励セレモニー

展示解説や体験学習指導等を行っている縄文是川ボランティアを激励するセレモニー。

4月上旬に開催予定。

○第27回これかわ縄文まつり

「見る」・「学ぶ」・「遊ぶ」を通し、来館者が縄文文化を体感できるまつりを開催。

開催予定日：令和7年8月24日(日)

○第10回是川縄文の里 俳句大会

是川縄文の里に対する市民の関心を喚起するため、遺跡や是川地域を題材にした俳句大会を開催予定。

○世界遺産「縄文遺跡群探訪」

縄文文化の価値及び世界遺産登録の意義について普及啓発を図るため、秋頃に近隣の遺跡を

めぐるバスツアーを予定。

○是川縄文の日

11月3日開催。無料開放とし、記念品配布をはじめ縄文体験やクイズ等を実施。

○えんぶり鑑賞会

地元是川の妻神えんぶり組による「えんぶり鑑賞会」を令和8年2月に開催予定。

八戸市立図書館 令和7年度事業概要

【継続】

- 博図連携事業「市民のための歴史講座」 4回（図書館2回、博物館2回）
テーマ「歴史をカガクする(仮)」
- 古文書解読講習会 （6回）
- 第15回八戸市図書館を使った調べる学習コンクール
- 八戸ブックスタート事業 （年50回程度）
- 体験！一日図書館員
- 読み聞かせ講習会
- お話し会 （毎週木曜日、毎週土曜日）
- 見学・体験学習の受け入れ
- 企画展示
 - ・ 季節や時事をテーマにした展示
 - ・ 市民大学講座、ブックセンター、博物館、是川縄文館、美術館等、各課の事業と連携した展示

【新規】

●電子図書館の導入検討

(1) 電子図書館とは

実際に図書館に行かなくても、インターネットを通じて自分のタブレットやスマートフォン等から電子書籍を無料で借りることができるサービス。

(2) 特徴

- ▶ 時間と場所を選ばずに、休館日や開館時間外でも貸出、閲覧ができる。
- ▶ 書籍の保管場所が不要になることや、管理の手間、紛失リスクを解消。
- ▶ 文字の拡大表示や音声読み上げ機能があるものもあり、障がい者や高齢者の利用を支援できる。
- ▶ 全ての書籍や資料を電子化しているわけではないため、閲覧できるタイトルが紙の図書に比べて少ない。
- ▶ 購入した電子書籍は紙の図書と違い、図書館の蔵書となるわけではない。

(3) 導入時期(予定)

令和7年11月1日（図書館システムの更新にあわせて）

【報告】

●150周年記念事業

- 150周年記念看板作成（8/8から正面玄関に設置）
- 講演会の開催
（市民のための歴史講座：全4回 9/21、10/20、11/23、12/21）

(市民大学と共催：5/22 石田衣良氏、7/26 本郷和人氏)

- パネル展の開催
(10月：図書館、11月：市庁本館、2/9：SG GROUP ホールはちのへ)
- 第14回八戸市図書館を使った調べる学習コンクール
(八戸市立図書館 150 周年記念として実施し、特別賞を創設)
- クリスマスおはなし会&工作会 (12/21)
(「はっち」を会場に図書館 3 館合同で開催。150 周年パネル展示同時開催)
- 体験！一日図書館員 (1/19・1/26) (予定)
(学芸員が図書館 150 周年の歴史について解説)
- 150 周年記念デザインの利用カード発行 (11/1～、3,000 枚限定)
- 記念グッズの作成 (トートバッグ・クリアファイル・しおり)
- ポスター、リーフレットの作成
- 150 周年事業フィナーレイベント (R7.3/22)
(内容) 朗読会、ライブラリーコンサート、いかずきんズ撮影会
- 記念誌の発行 (R7.3)

八戸市博物館 令和7年度事業概要

博物館事業

1. 特別展の開催

施設長寿命化及び展示リニューアル工事に伴う休館のため休止

※例年、夏季特別展、秋季特別展を開催

2. 企画展等の開催

施設長寿命化及び展示リニューアル工事に伴う休館のため休止

※例年、新収蔵資料展、ミニパネル展、新春ミニ企画展えと展、えんぶり展、ひな人形展を開催

3. 教育普及活動

○博物館クラブ（小中学生・親子対象） 9回

○おとなの博物館クラブ（高校生以上対象） 2回

○市民のための歴史講座（博図連携事業） 4回 テーマ「歴史をカガクする（仮）」

○館外フィールドワーク

・八戸城下めぐり 2回

・小中学生のための城歩き講座 2回（根城・三戸城）

○その他

・小学校等の見学・体験学習の受け入れ（9月末まで）

・小学校等への出前授業・講師等派遣

・博物館実習及び資料の調査・貸出・寄附は可能な範囲で対応

4. 施設長寿命化及び展示博物館リニューアル事業

○休館する期間：令和7年10月～令和9年6月の予定

○施設改修関係

空調及び高圧受電設備改修工事

○展示室・収蔵庫関係

防災設備改修…防火・防犯にかかわる設備の改修

展示収蔵設備改修…展示ケース更新、渡り廊下への自動扉新設、収蔵庫扉交換

展示室改修…常設展示の更新、各展示照明の最適（LED）化

史跡根城の広場事業（指定管理者制度導入施設）

1. 根城おもしろ講座

・歴史講演会 3回 テーマ：史跡根城の広場開園30周年記念「根城の顕彰と整備活用」

・体験学習講座 7回

2. 行事

- 城の日（4月6日）
 - さくら WeeK!（4月18日～4月27日）※
 - 鎧と小袖姿で記念撮影①（5月1日～6日）
 - 根城記念祭（5月22日）※
 - 第30回史跡根城まつり（10月4日）※
 - イチョウ WeeK!（11月7日～11月16日）※
 - 鎧と小袖姿で記念撮影②（11月8日・日）
 - 第16回史跡根城・えんぶり公演（2月18日・19日）
- ※は本丸跡入場無料

南郷歴史民俗資料館事業

1. 展覧会等

- 特別展「ゆめとあこがれのかたちー戦後日本の玩具ー」
会期：令和7年7月19日（土）～9月7日（日）
併催行事：講演会「日本のおもちゃ（仮）」
むかしの遊び体験会
動くおもちゃ実演 2回
ギャラリートーク 4回
- ミニコレクション展「器（うつわ）」
会期：令和7年11月29日（土）～令和8年3月15日（日）

2. 講座・体験行事

- 講座
館外講座 4回
館内講座 1回
- 体験行事
なんごうあそびのひろば 4回